6. 事務事業の事後評価★						
評価視点	評価		評価の理由、または認識している課題を記載			
妥当性評価	高い		学校の設置者である市は、その設置した学校を管理し、その学校の経費を負担する必要がある。			
効率性 評価	高い		各学校へ、空調設備等に関する運用指針を配布し、省エネ・地球環境への配慮等に対する意識を高め、取組みを行う。			
有効性評価	高い		今後も、省エネ・地球環境への配慮等に対する意識を高め、取組みを継続していく必要がある。			
7. 前年度	評価時の計	画と実績				
前年度	評価★		載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★			
評価区分	成果の方向性 現状維持		: <mark>せず、直ちに</mark> -			
一次評価	コストの方向性 現状維持	次年度以降に ト)増を必要 的に実施する	<mark>そとし、中長期</mark> 引続き、各学校に運用をしてもらい、省エネ・地球環境への配慮等に取組みを行う。運用指針についても、状 等により見直しを行い、学校と共に取組みを進める。	犬況		
前年度改善第	ここだける 実績	*	※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入			
各学校において、省エネや地球環境への配慮を行ってもらった。 8. 今年度評価における成果と課題 (決算成果説明書と連動) ★ 成 昨年度から新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことから、窓を開けたままの運用を行う学校が減ったため、昨年度と同条件での果 比較ができた。						
課 エネルキ	一の使用状況	から省エネ	*が停滞している事業者に位置付けられていることからも、エネルギー管理マニュアルに基づき、各	教		

環 エネルギーの使用状況から省エネが停滞している事業者に位置付けられていることからも、エネルギー管理マニュアルに基づき、各
題 室に適した温度設定を心掛け、こまめに電源を切るなど、使用量の削減に向けての注意喚起を行っていく必要がある。

9.今後の事業の方向性と改善策

コスト(人・予算等)を 必要とせず、ただちに実

施する改善策

成果の方向性	□ 各学校へ、空調設備等に関する運用指針を配布し、省エネ・地球環境への配慮等に対する意識を高め、取組 みを推進する。
現状維持	理 みを推進する。 今後も、省エネ・地球環境への配慮等に対する意識を高め、取組みを継続していく必要がある。 由□
コスト投入の方向性	□ 引き続き、各学校に運用をしてもらい、省エネ・地球環境への配慮等に取組みを行う。運用指針についても、状況等に □ より見直しを行い、学校と共に取組みを進める必要がある。
現状維持	世 由 」

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

施できる改善策
コスト (人・予算等) を
必要とし、中長期的に実
近年の猛暑による影響で、今後学校へのエアコンの設置が増加し、電気使用量や料金についても、増加していく
ことが予測されるため、電気使用量の削減に向けた照明器具のLED化等も検討していく必要がある。

ĺ		成果の方向性	
	評価変更理由		早期のLED化や、空調設備の導入により学校環境衛生基準を満たしやすい環境の整備に努めること。 教育委員会全体で一括発注やPFI導入により、コスト削減を図り、事業を実施すること。全
ı		コスト投入の方向性	
			庁的な問題として改善を図ること。